

発 加 経 第 2 8 号
令和 7 年 11 月 19 日

加賀市上下水道経営検討委員会
会長 平 野 禎 幸 様

加賀市上下水道事業
加賀市長 山 田 利 明

加賀市上下水道事業の今後の経営のあり方について（諮問）

標記の件につきまして、加賀市上下水道経営検討委員会設置規程第 2 条の規定に基づき、上下水道事業の今後の経営のあり方について、下記のとおり諮問し貴委員会の意見を求めます。

記

1. 諮問内容

人口減少や少子高齢化が深刻化する時代を迎え、水需要が減少する中、本市上下水道事業の今後の経営状況について調査・研究を行い、従前からの経費削減策に加え、料金改定などによる増収策の検討・審議

2. 諮問理由

本市の上下水道事業は、地方公営企業法の全部適用を受け、独立採算の原則の下、適正な市民サービスを提供し続けている。

平成 1 7 年 1 0 月の市町合併から 2 0 年が経過するが、この間、事務の民間委託を推進するなどの行政改革を行うことで、消費増税によるものを除き、料金改定を行うことなく、独立採算による企業経営を堅持してきた。

しかし、人口減少による料金収入の減少に加え、ゼロ金利時代が終わり、経済マインドがデフレからインフレにシフトする中、諸物価の高騰に直面し、資材価格をはじめ動力費や薬品費を中心とした、事業継続に必須な経費の高騰は、企業経営に大きな影響を与えている。

このため、従前から継続している経費削減策だけでは、今後の事業継続に支障をきたすと思われ、長期的な視点で料金改定などの新たな増収策についてご審議いただき、市民生活に不可欠なインフラである上下水道事業の、今後の安定した経営のあり方について、審議・答申をお願いするものである。